

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第393回

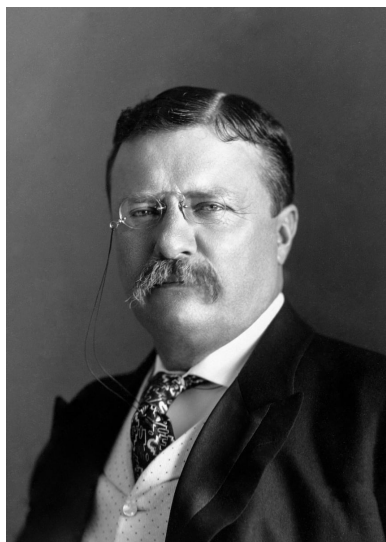
セドオア・ルーズベルト

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年7月19日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Keep your eyes on the stars,
and your feet on the ground.

視線は星空に、足は地に。

セオドア・ルーズベルト・ジュニアは、アメリカ合衆国の政治家、軍人で第26代大統領に1901年から1909年まで在任した。愛称のテディやニシャルのT.R.として知られており、ニミッツ級の4番艦セオドア・ルーズベルトの艦名のもととなった人物である。

Column

夢を持つことの大切さ、いつでも夢に向かって挑戦するパワーを発揮できる自分での大切さをこんなに簡潔でオシャレに伝える言葉があるんだなと感心しました。さすがアメリカの発展期に大きなリーダーシップを示した人物ですね。

みなさんはどのような夢を持っていますか？高校時代の私が抱いていた夢はプロアスリートになることでした。結果的に夢を叶えることができたのでよかったのですが『絶対になれる！』と根拠のない自信だけで実力は全然満たないような選手でした。視線は星空を向いていましたが、間違いなく足は地についていませんね…。ただ、根拠がないだけあって夢に対する情熱も無限にありました。縁も運もすべてが味方してくれたおかげで夢を叶えることができましたが、夢に対する情熱がそれを引き寄せた部分も少しだけあるのかなと思っています。

叶えたいと思えば思うほど、その夢は自分にとって大きく重たいものです。重たいものを持ち上げようとするのなら、やはり思い切り踏ん張らなくてはなりません。今回の言葉によく似たもので、しっかりと現実在即した考え方を持って振る舞っている人のことを“地に足がついてる”と表現します。夢を夢として見ているだけではなく、実際に叶えるために現実としてできる戦略を立て、ひとつずつ確認するようにクリアしながら進んでいくことが重要だと改めて感じます。私は本当に周りの人の支えがあって夢が叶いました。自分の足は地についていなかったのは周りの人が私を担いでくれていたからだと思います。こんなにラッキーなことが叶えたい夢ができるたびに起こるとは考えられませんし、ラッキーから学んで自分の力にすること、次は自分の力で夢を叶えられるようになることが大切です。みなさんは中学時代に受験勉強を頑張って正智深谷高校にいます。ただ、それは自分だけの力ではありません。共に受験勉強を頑張った仲間、支えてくれた家族や中学の恩師の存在もあってこそ手に入れた現在の環境です。環境が人を育て、新たな夢を抱かせてくれます。未来の自分が少しでも高いところに到達できるよう、視線は星空に！思い切りジャンプできるように足をしっかり地につけておきましょう！